

財源確保と予算

編成について



問 「必殺仕分人」による事業仕分が国民の高い関心を得ている。

国の予算に無駄があるとしたら大胆な削減を期待するが、このことで幕別町の財源を確保出来ないことがあつてはならない。以下について伺う。

- ① 地方交付税の見通し。
- ② 町税収見込み。
- ③ 町村合併の約束が守られるか。
- ④ 暫定税率廃止の影響。
- ⑤ 扶助費の予算化。
- ⑥ 強い農業交付金の見通し。
- ⑦ 農林水産関係の非公共事業削減の影響。
- ⑧ その他懸念されること。
- ⑨ 22年度予算編成の重点。

町長 ①事項要求のため、予算編成作業にどう反映されるか、憂慮している。

②税制改正大綱と租税特別措置の見直しをしていると聞くが、まだ不透明である。③地方交付税制度の見直しの中で検討されるものと思

われ、不透明な状況である。

- ④ 廃止された場合の影響額や、減収補てん策についても不透明な状況である。
- ⑤ 実施については、まだ未確定である。
- ⑥ ⑦ 強い農業づくり交付金「は2分の1から3分の1の縮減、「農地・水・環境保全向上対策交付金」は1割程度の縮減、「森林整備地域活動支援交付金」は予算計上見送りなど厳しい判定結果で、予算に反映され

定住促進と町有地の有効活用について

問 幕別町は何を売りに定住促進を図るか

課題である。定住促進の手法の一つに、町有地の活用が考えられる。また、現在のライフスタイルに合わせ、建築要件の変更を行う必要性を感じる。以下について伺う。

① 住んでみたいと思うセー

れば、大きな影響が出る。

- ⑧ 事業仕分け結果の反映や政府税調の議論の行方、地方財政対策が不透明であり、歳入面も不透明な部分が多い中で編成作業となるため、地方交付税や町税などの一般財源の確保という点では、大変危惧している。
- ⑨ 国の予算編成が不透明で流動的な状況のため、現制度の中で収支の均衡を図ることを前提として、「財政健全化推進プラン」に基づいた財政運営を基本とし、歳出全般の見直しを行い、第5期総合計画に基づいた施策の重点化を行うこととした。

有効活用について

- ② お試し暮らしの利用実績。
- ③ 旭町・南町・緑町・あおぞら団地の分譲状況と旭町公住跡地の有効活用を考え。
- ④ 容積率・建ぺい率の見直しの考え。

町長 ①帯広市に近い距離にありながら、田舎の良さが残り、広々とした居

住環境と、屋外スポーツ施設や文教施設、医療機関が徒歩圏内に完備し、生活しやすい地域と捉えている。

忠類地区は、十勝を代表する酪農地帯として発展し、北海道のイメージそのままの景観を有し、地域イベントや音楽など地域住民の活動も活発な地域である。

- ② 現在のところ夏の間の1件・4日間の利用である。
- ③ 本町地区は、30件の問い合わせがあった。あおぞら

賑わいのある

町づくりについて

問 昭和の40年代・50年代の団地は高齢化

率が特に高く、気軽に買い物に行けないなど生活利便性に欠けている。生活利便性の低い地域への政策誘導により賑わいのある町づくりが必要である。以下について伺う。

- ① 商店街活性化店舗開店等支援事業の新年度の考え。
- ② 高齢者の買い物難民をどのように捉えているか。対策は。

団地は、5区画分譲し、4軒の方が住んでいる。

- 旭町公住跡地については、基本的には、宅地分譲することを考えているが、多角的に検討する。
- ④ 現状把握や住民説明会など、合意形成が必要となること、単なる容積率・建ぺい率の緩和は敷地の細分化につながり、住環境の悪化を招く懸念もあり、慎重に対応する必要がある。

援事業を実施したいと考えている。

② 旭町や緑町では、団地全体の高齢化が進み、不自由さを感じている方が増えつつあるものと思っている。地元の食料品店や札内の大型小売店の一部では、電話での注文販売や配達を実施され、消費者ニーズに相應る商業展開を図るよう商工会など関係団体に要請するとともに、それら商業展開の中で公益的な部分があれば、支援をしたい。